

## Ⅵ. 成績・GPA

### 1. 成績評価

成績評価は、シラバスに記載されている成績評価方法にしたがって行われます。合格した科目は、取り消したり、再度受講登録したりすることはできません。

### 2. 成績

	評価		成績表への記載	成績証明書への記載
	記号	素点		
合格	S	100～90	記号表記と 素点表記	記号表記
	A	89～80		
	B	79～70		
	C	69～60		
	N	N	記号表記	
不合格	F	59～0	記号表記と素点表記	表記なし

※ 記号「N」は「認定」を表します。単位互換等で認定された科目は、「N」と記載されます。

### 3. 成績発表

春学期は9月上旬頃、秋学期は3月中旬頃に発表します。

### 4. GPA

本学では、GPA (Grade Point Average) を導入しています。GPA とは大学の成績評価を数値化したもので、学力を測る指標となっています。GPA は、成績評価に記載しています。

※GPA 値は、学内における奨学金審査等で用いられています。成績基準として GPA 値が各種奨学金やその他の申請等の条件となる場合には、別途募集要項等に記載します。

#### (1) 本学の GPA 換算方法

(計算式)

$$\text{GPA} = \frac{(4 \text{ ポイント} \times \text{Sの科目の単位数合計}) + (3 \text{ ポイント} \times \text{Aの科目の単位数合計}) + (2 \text{ ポイント} \times \text{Bの科目の単位数合計}) + (1 \text{ ポイント} \times \text{Cの科目の単位数合計}) + (0 \text{ ポイント} \times \text{Fの科目の単位数合計})}{\text{総単位数 (履修登録科目の単位数)}}$$

GPA 換算時の対象科目は、履修登録をしたすべての科目となります。不合格となった科目も対象となり、分母に加算されます。また、再履修した科目は全ての成績が対象となり、分母には延べ単位数が加算されます。

※卒業要件に算入しない資格科目は除きます。

※大学コンソーシアム京都単位互換科目、留学によって修得した認定科目など（評価が「N」と表される科目）は除きます。

### 5. 成績表記調査

シラバスに記載された評価基準、および授業の中での評価基準の説明を十分に理解した上で、明らかに自分の成績が誤りであると考えられ、それを具体的に説明できる場合、成績表記調査を申し出ることができます。

申請方法：申請方法および申請期間については、先端なびよりお知らせします。

受付：成績表記調査の申請内容を確認して、明らかに成績表記に誤りがあると思われる場合は、受け付けます。

回答：先端なびより回答します。

注意：成績表記が誤りであるケースは極めて少なく、学生本人が評価方法や授業中の説明を理解していないために、成績表記が誤りであると思い込んでいるケースが大半です。事前に十分に検討してください。

## Ⅶ. 単位授与及び認定

### 1. 単位授与

授業科目を履修し、原則として春学期末または秋学期末に行われる試験に合格した者には、所定の単位が与えられます。

試験の方法は、p.16「V.試験」に示した筆記試験・レポート試験・実技試験などがありますが、科目によっては通常の授業時の成績を試験成績とすることがあります。

出席日数が不足している、あるいは途中で受講を放棄した場合は、その科目の単位は授与されません。

### 2. 単位授与の時期

単位授与は、原則として9月・3月（各学期終了後）に行います。

単位授与されるには、単位授与時期に、学籍状態が「在学」または「留学」中である必要があります。（「休学」中の場合は、単位授与されません）。

### 3. 他大学等で修得した単位の認定

教育上有益と認められた場合は、海外留学や国内留学、単位互換制度等を履修することができます。修得した単位は、60単位を限度とし学部教授会の審議を経て卒業認定単位として認めることがあります。なお、60単位の上限は、個々の留学プログラム毎ではなく、他大学等で修得した単位全体の上限となります。また、上限単位は、各学期の履修登録制限単位数を超えて認定する事は出来ませんので、注意してください。

## Ⅷ. 進級要件

### 1. 進級要件

進級するためには、各学年において学科で定めた要件を満たすことが必要です。

【経済学科、経営学科、心理学科、歴史文化学科、バイオサイエンス学科、バイオ環境デザイン学科、食農学科、健康スポーツ学科】

	1 年次終了時	2 年次終了時	3 年次終了時
修得単位数※	28 単位以上	60 単位以上	96 単位以上 (バイオ環境学部は 100 単位以上)
単位修得が 必要な 大学共通 コア科目	スタートアップゼミ I	スタートアップゼミ II 日本語リテラシー I・II 数的処理 I・II 情報リテラシー 英語 I、英会話 I キャリアデザイン I・II SLS I・II (バイオ環境学部 は SLS I-B、II)  *外国人留学生は、日本語リテラシー I・II と 数的処理 I・II の代替として、日本語 I・II の単位を修得していること。	英語 II・III 英会話 II・III SLS III・IV (バイオ環境学部 は SLS IV 不要)  *外国人留学生は、さらに日本語 作文演習の単位を修得している こと。
単位修得が 必要な 専門科目		経済学科：ミクロ経済入門、 マクロ経済入門 経営学科：会計学入門、経営 戦略論入門  心理学科： 社会・産業基礎演習、心理 演習、および心理学実験の 内、2 科目以上の単位を修 得していること。	
在学期間 (休学期間 は除く)	1 年次に 1 年間在学している こと。	2 年次進級後に 1 年間在学 していること。	3 年次進級後に 1 年間在学し ていること。

※卒業要件に算入されない科目の修得単位数は含まれません。

【看護学科、言語聴覚学科】

	2 年次終了時	3 年次終了時
修得単位数※	基礎分野における卒業要件 (22 単位以上の修得)	—
修得科目	2 年次終了時までに関講した必修科目すべて	3 年次終了時までに関講した必修科目すべて

※卒業要件に算入されない科目の修得単位数は含まれません。

【機械電気システム工学科】

	1 年次終了時	2 年次終了時	3 年次終了時
修得単位数 ※	28 単位以上	60 単位以上	96 単位以上
必修科目 (共通)		英語科目より 必修 10 単位を含む 18 単位以上	
必修科目 (専門)	物理工学 I 物理工学 I 演習 微分積分と線形代数 I 微分積分と線形代数 I 演習		プレキャップストーンプロジェクト I プレキャップストーンプロジェクト II
在学期間 ※休学期間 は除く	1 年次に 1 年間在学している こと。	2 年次進級後に 1 年間 在学していること。	3 年次進級後に 1 年間在学している こと。

※卒業要件に算入されない科目の修得単位数は含まれません。

## Ⅸ. 学修者本位の学び

### 1. 学修者本位の学び

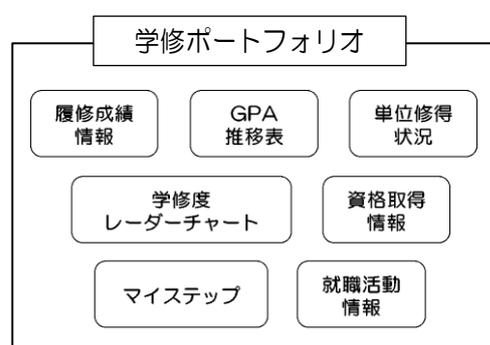
今後の社会が求める人材像は、「基礎的で普遍的な知識・理解と汎用的な技能を持ち、その知識や技能を活用でき、ジレンマを克服することも含めたコミュニケーション能力を持ち、自律的に責任ある行動をとれる人材」です。また、大学・学部・学科は、それぞれ「学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー：DP)」として、学生の卒業要件を定めています(履修要項 p.2、および各学部・学科ページ参照)。

文部科学省の指針により、このような人材の育成を目標とした高等教育のあり方は、大学が学生に対して「何を教えるか」ではなく、学生自身が目指す姿になるために「何を学び、身に付けるのか」に変わってきました。この、学生が自らの学修の成果を実感しながら必要な能力を身に付けていくことを「学修者本位の学び」と呼びます。

「学修者本位の学び」を効率よく進めるツールとして、先端なびには「学修ポートフォリオ」と、「マイステップ」が用意されています。

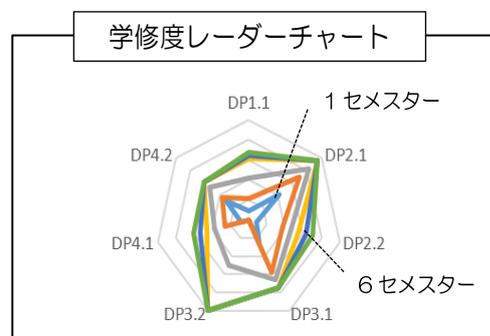
### 2. 学修ポートフォリオ

学修ポートフォリオは、学生一人ひとりの学修情報(履修成績情報、資格、GPA 推移、単位修得状況)から就職活動情報までを一元的に確認できるツールです。そのなかには「学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー：DP)」への到達度を可視化した「学修度レーダーチャート」があります。また、これは学修の自己管理ツール「マイステップ」とも連携しています。学修ポートフォリオを上手に活用することにより、自分自身の成長(学修進捗度)を GPA だけではなく、より広い視点から確認してください。



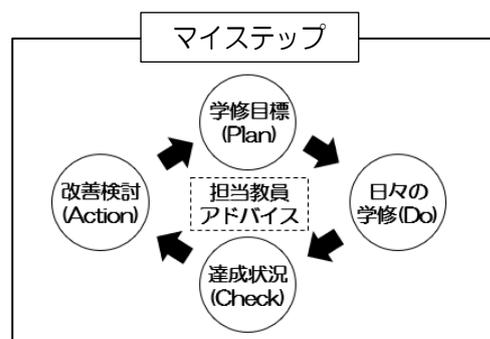
### 3. 学修度レーダーチャート

各授業科目は「学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー：DP)」の7項目に割り付けられています。学修度レーダーチャートとは、学生の DP に対する伸長状況を、Semester毎に修得した科目の成績も考慮して算出し、可視化したものです。上級生になるにつれ、また成績上位になるにつれ、相対的にレーダーチャートの面積は大きくなります。学科・コースの到達モデルと比較することで、伸びている点、欠けている点がわかりますので、自分の学修到達度を把握するとともに、翌Semesterの履修登録時の検討材料にしてください。



### 4. マイステップ(学修の自己管理ツール)

「学修者本位の学び」を進めるには、学生自身が「学修目標を立てる(Plan)」「日々の学修を行う(Do)」「達成状況をチェックする(Check)」「改善検討を行う(Action)」というPDCAサイクルを回す必要があります。マイステップは、Semester毎に学修目標・達成状況・改善ポイント等を入力することで、Semester毎に学修の自己管理ができるツールになっています。学修目標設定時と成績発表時には、担当教員から面談等を通して入力内容に対するアドバイスがフィードバックされますので、それらも参考にしながら、自身が目指す姿になるための取り組みを、主体的に進めてください。



## X. 卒業と学位

### 1. 卒業および学位

卒業するためには、大学が定める教育課程に従って学修し、次の卒業要件をすべて満たすことが必要です。

#### (1) 所定在学年数

8セメスター以上在学し、各学年1年以上在学していること。休学期間は在学年数に含みません。

#### (2) 所定単位の修得

卒業に必要な単位数（要卒単位数）・必修条件等を満たしていること。

#### (3) 卒業判定

所定在学年数の要件を満たすことになる在学学生を対象に卒業判定を行います。この卒業判定に合格した場合に、卒業が認められます。

### 2. 学位

学部名	学科名	学位
経済経営学部	経済学科	学士（経済学）
	経営学科	学士（経営学）
人文学部	心理学科	学士（人文）
	歴史文化学科	学士（人文）
バイオ環境学部	バイオサイエンス学科	学士（バイオ環境）
	バイオ環境デザイン学科	学士（バイオ環境）
	食農学科	学士（バイオ環境）
健康医療学部	看護学科	学士（看護学）
	言語聴覚学科	学士（言語聴覚学）
	健康スポーツ学科	学士（健康スポーツ学）
工学部	機械電気システム工学科	学士（工学）

### 3. 卒業見込

#### (1) 卒業見込証明書とは

「卒業見込証明書」とは卒業見込日が記載された証明書であり、就職試験や大学院入試等で受験先から提出を求められます。卒業見込は、卒業を保証するものではありません。

#### (2) 証明書発行基準

卒業見込証明書の発行基準は次頁のとおりです。

【卒業見込証明書発行基準】

以下の表に記載されている各セメスター開始時の修得単位数（卒業要件に含まれる単位数）を満たしている場合、卒業見込証明書が発行されます。

所属学部	所属学科	卒業に必要な単位数	第7セメスター開始時 修得単位数	第8セメスター開始時 修得単位数
経済経営学部	経済学科	124 単位	4年次に在籍している こと	100 単位以上
	経営学科			
人文学部	心理学科	124 単位		100 単位以上
	歴史文化学科	128 単位		104 単位以上
バイオ環境学部	バイオサイエンス学科	128 単位		108 単位以上
	バイオ環境デザイン学科			
	食農学科			
健康医療学部	看護学科	126 単位		121 単位以上
	言語聴覚学科	124 単位		118 単位以上
	健康スポーツ学科			100 単位以上
工学部	機械電気システム工学科	128 単位	104 単位以上	

※第7セメスターで卒業見込証明書が発行されていた場合でも、成績次第で第8セメスターでは発行されない場合もあります。

## 卒業認定の基準（令和6年度入学生）

### 〔経済経営学部 経済学科〕

合計 124 単位（必修 43 単位、選択 81 単位）以上を修得し、かつ卒業論文の審査に合格すること。内訳は以下の通り。

大学共通コア科目から 50 単位以上を修得。その内、未来展望科目から 4 単位、アカデミック・スキル科目から必修 5 単位、英語科目から必修 16 単位、スタートアップ科目から必修 4 単位、キャリア教育科目から必修 4 単位、スポーツ・ライフスキル科目から必修 4 単位を修得。

専門科目から 74 単位以上を修得。その内、学部共通科目入門科目とキャリア科目から 8 単位以上、学科専門科目基礎科目から必修 10 単位、並びに学部共通科目と学科専門科目から 44 単位以上を修得。なお、他学部・他学科などで修得した単位は 12 単位を上限に含むことができる（詳細は、履修に関する要項に定める）。

（履修科目の登録上限：48 単位（年間））

### 〔経済経営学部 経営学科〕

合計 124 単位（必修 41 単位、選択 83 単位）以上を修得し、かつ卒業論文の審査に合格すること。内訳は以下の通り。

大学共通コア科目から 50 単位以上を修得。その内、未来展望科目から 4 単位、アカデミック・スキル科目から必修 5 単位、英語科目から必修 16 単位、スタートアップ科目から必修 4 単位、キャリア教育科目から必修 4 単位、スポーツ・ライフスキル科目から必修 4 単位を修得。

専門科目から 74 単位以上を修得。その内、学部共通科目入門科目とキャリア科目から 8 単位以上、学科専門科目基礎科目から必修 8 単位、並びに学部共通科目と学科専門科目から 46 単位以上を修得。なお、他学部・他学科などで修得した単位は 12 単位を上限に含むことができる（詳細は、履修に関する要項に定める）。

（履修科目の登録上限：48 単位（年間））

### 〔人文学部 心理学科〕

合計 124 単位（必修 35 単位、選択 89 単位）以上を修得すること。内訳は以下の通り。

大学共通コア科目から 50 単位以上を修得。その内、未来展望科目から 4 単位、アカデミック・スキル科目から必修 5 単位、英語科目から必修 16 単位、スタートアップ科目から必修 4 単位、キャリア教育科目から必修 4 単位、スポーツ・ライフスキル科目から必修 4 単位を修得。

学科専門科目から 62 単位以上を修得。その内、基礎科目から 8 単位、展開科目から必修 2 単位を含む 54 単位を含める。

学科専門科目、他学部科目などから、任意に 12 単位以上を修得（詳細は、履修に関する要項に定める）。

（履修科目の登録上限：48 単位（年間））

### 〔人文学部 歴史文化学科〕

合計 128 単位（必修 43 単位、選択 85 単位）以上を修得し、かつ卒業研究の審査に合格すること。内訳は以下の通り。

大学共通コア科目から 50 単位以上を修得。その内、未来展望科目から 4 単位、アカデミック・スキル科目から必修 5 単位、英語科目から必修 16 単位、スタートアップ科目から必修 4 単位、キャリア教育科目から必修 4 単位、スポーツ・ライフスキル科目から必修 4 単位を修得。

学科専門科目から 72 単位以上を修得。その内、基礎科目から必修 10 単位を含む 22 単位、展開科目 22 単位を含める。

学科専門科目、他学部科目などから、任意に 6 単位以上を修得（詳細は、履修に関する要項に定める）。

（履修科目の登録上限：48 単位（年間））

### 〔バイオ環境学部 バイオサイエンス学科〕

合計 128 単位（必修 69 単位、選択 59 単位）以上を修得すること。内訳は以下の通り。

大学共通コア科目から 50 単位以上を修得。その内、未来展望科目から 4 単位、アカデミック・スキル科目から必修 5 単位、英語科目から必修 16 単位、スタートアップ科目から必修 4 単位、キャリア教育科目から必修 4 単位、スポーツ・ライフスキル科目から必修 4 単位を修得。

学科専門科目の基礎科目から必修4単位を含む12単位以上、専門基礎科目から必修3単位を含む16単位以上、専門科目から必修29単位を含む40単位以上を修得すること。なお、選択42単位の内、10単位を上限に、基礎科目・専門基礎科目・専門科目・他学部受講により取得した単位を含むことができる（詳細は、履修に関する要項に定める）。

（履修科目の登録の上限：48単位（1年次）48単位（2年次）48単位（3年次）40単位（4年次）（年間））

[バイオ環境学部 バイオ環境デザイン学科]

合計128単位（必修48単位、選択80単位）以上を修得すること。内訳は以下の通り。

大学共通コア科目から50単位以上を修得。その内、未来展望科目から4単位、アカデミック・スキル科目から必修5単位、英語科目から必修16単位、スタートアップ科目から必修4単位、キャリア教育科目から必修4単位、スポーツ・ライフスキル科目から必修4単位を修得。

学科専門科目の基礎科目から12単位以上、専門基礎科目から必修1単位を含む16単位以上、専門科目から必修14単位を含む40単位以上を修得すること。また、学科専門科目の内、基礎科目の選択必修科目群から10単位以上、専門科目の選択必修科目群から20単位以上を修得すること。選択63単位の内、10単位を上限に、基礎科目・専門基礎科目・専門科目・他学部受講により取得した単位を含むことができる（詳細は、履修に関する要項に定める）。

（履修科目の登録の上限：48単位（1年次）48単位（2年次）48単位（3年次）40単位（4年次）（年間））

[バイオ環境学部 食農学科]

合計128単位（必修59単位、選択69単位）以上を修得すること。内訳は以下の通り。

大学共通コア科目から50単位以上を修得。その内、未来展望科目から4単位、アカデミック・スキル科目から必修5単位、英語科目から必修16単位、スタートアップ科目から必修4単位、キャリア教育科目から必修4単位、スポーツ・ライフスキル科目から必修4単位を修得。

学科専門科目の基礎科目から必修4単位を含む12単位以上、専門基礎科目から必修8単位を含む16単位以上、専門科目から必修14単位を含む40単位以上を修得すること。また、学科専門科目の内、専門科目の選択必修科目群から14単位以上を修得すること。選択52単位の内、10単位を上限に、基礎科目・専門基礎科目・専門科目・他学部受講により取得した単位を含むことができる（詳細は、履修に関する要項に定める）。

（履修科目の登録の上限：48単位（1年次）48単位（2年次）48単位（3年次）40単位（4年次）（年間））

[健康医療学部 看護学科]

基礎分野教養から必修11単位を含む14単位以上、情報から必修2単位を含む2単位以上、外国語から必修6単位、専門基礎分野から必修23単位、専門分野看護の基礎から必修34単位、看護の実践から必修40単位、看護の発展から必修4単位を含む7単位以上、合計126単位（必修116単位、選択10単位）以上を修得すること。

（履修科目の登録上限：24単位（半期））

[健康医療学部 言語聴覚学科]

基礎分野から必修15単位を含む22単位以上、専門基礎分野から必修43単位を含む43単位以上、専門分野から必修59単位を含む59単位以上、合計124単位（必修117単位、選択7単位）以上を修得すること。

（履修科目の登録上限：24単位（半期））

[健康医療学部 健康スポーツ学科]

合計124単位（必修51単位、選択73単位）以上を修得すること。内訳は以下の通り。

大学共通コア科目から50単位以上を修得。その内、未来展望科目から4単位、アカデミック・スキル科目から必修5単位、英語科目から必修16単位、スタートアップ科目から必修4単位、キャリア教育科目から必修4単位、スポーツ・ライフスキル科目から必修4単位を修得。

専門科目から74単位以上を修得。その内、基礎科目から必修6単位、演習科目から必修8単位以上を修得。なお、他学部などで修得した単位は6単位を上限に含むことができる（詳細は、履修に関する要項に定める）。

（履修科目の登録上限：48単位（年間））

[工学部機械電気システム工学科]

研究室プロジェクトⅡ4

未来展望科目・公民教養科目より4単位以上、語学科目より必修10単位を含んで18単位（外国人留学生は、日本語科目より18単位）以上、スタートアップ科目必修4単位、スポーツ科目必修4単位の計30単位以上を修得すること。

専門共通科目（基礎）43単位より必修35単位を含む36単位以上、専門科目（基礎）12単位より必修3単位を含む9単位以上、専門科目（応用・発展）47単位より24単位以上、実験・実習科目14単位より必修8単位を含む10単位以上、総合演習20単位より必修6単位を含む10単位以上、その他学部専門科目全体より9単位以上修得すること。但し、総合演習の「キャップストーンプロジェクトⅠ・Ⅱ」又は、「研究室プロジェクトⅠ・Ⅱ」は、選択必修科目とする。

大学共通科目30単位以上と学部専門科目98単位以上を合わせて計128単位以上を修得すること。